



旭市消防出初式

防火・防災への思い新たに

新春恒例の旭市消防出初式が1月6日、旭文化の杜公園で行なわれました。消防関係者や区長などの来賓や多くの観覧者が見守る中、消防団員と消防職員による行進や、各中隊代表による放水などを披露しました。

また長年消防活動に尽力された功績をたたえ、138人と4部に表彰状や感謝状が贈られました。主な受章者は次のとおり。※敬称略

【千葉県知事表彰】

功労章／石毛佐京（消防団本部分団長）

精勤章／高梨稔（消防団本部分団長）、八木真一（消防団本部分団長）、菅谷宣人（消防団本部分団長）、石毛友和（分団

長）、宮崎喜久（消防本部消防司令補）

【千葉県消防協会長表彰】

功労章／大野栄（消防団本部分団長）、石毛佐俊（分団長）、小林祥康（消防本部消防司令補）

精勤章／林龍一（第2中隊第4分団第1部部長）、野間剛（第3中隊第2分団第1部部長）、及川大輔（第3中隊第2分団第3部部長）、佐久間淳（第4中隊第1分団第3部部長）、小林幸喜（第4中隊第1分団第3部部長）、吉田幸男（第5中隊第1分団第1部部長）、林博一（第5中隊第3分団第3部部長）、三浦紀子（消防本部消防司令補）、野上将一（消防本部消防司令補）、門馬安幸（消防本部消防司令補）



虹が彩る一斉放水



規律のとれた分列行進

1月18日 縁起物の郷土食 とがらしごぼうが頒布

西宮神社で春の大祭が行なわれ、みそ、唐辛子、ゴボウなどで作られた「とがらしごぼう」が配られました。

日の出前の早朝5時に大祭の開催を知らせる鐘が鳴り響くと、食べれば1年風邪をひかず、福を招くとされる縁起物を求め、境内は多くの参拝者でにぎわいました。



とがらしごぼうを買い求める参拝者

1月11日 学び伝えよう 震災の記憶



避難スペースで非常食を試食

東日本大震災での教訓を学ぼうと、中央小で防災教室が開かれました。参加した6年生の131人は、非常食であるアルファ化米の調理や試食、体育館への避難所の開設などを体験しました。参加した児童は「楽しかったけど、本当の災害のことを思うと大変だと思った」などと話していました。

1月8日 二中の生徒が音楽と演劇で 旭の魅力を発信

二中の吹奏楽部とボランティア部が、「Happiness of AsahiⅣ～広めよう旭の魅力～」を東総文化会館で開催。小中高生の社会貢献活動を応援する旭・学び助成金の支援を受けて、旭農業高等学校吹奏楽部との合同演奏や、旭の民話本を演劇で紹介するブックトークなどが行われました。



二中吹奏楽部の息の合った演奏



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています。
旭市 フェイスブック

検索



あさひ 見聞録

けん ぶん ろく

2018 年始の風景

新年を迎え 一年の平安を祈る

平成30年の新春を迎え、市内では初日の出を見る人や初詣の参拝客などでにぎわいました。

鎌数伊勢大神宮に参拝に訪れていた家族は「昨年もここにきていい年になった。今年もいい年にしたい」などと話していました。



- ①新年に願いを込める(玉崎神社)
- ②火の神を祭る鎮火祭(熊野神社)
- ③おみくじを引いてにっこり(鎌数伊勢大神宮)
- ④今年も多くの人々が訪れた初日の出(飯岡海水浴場)



12月
17日

約300人のダンサーが さまざまなダンスを披露



舞台上で挨拶する出演者

市内外のダンススクールが、ダンスに意欲的に取り組む若者や子どもたちの発表の場として「POWER DO! ~Xmasの贈りもの~」を東総文化会館で開催しました。本番に向けて練習してきた出演者たちが、さまざまなジャンルのダンスを披露すると、会場から拍手が送られていました。

12月
6日

海上中 創立60周年を祝う

海上中が創立60周年を迎え、同校体育館で記念式典が行われました。昭和33年の創立以来、「頑張れ 欲ばれ 威ばれ」の建学の精神の下、生徒の育成に取り組んできました。この日会場では、来賓からお祝いの言葉が贈られたほか、全校合唱や陶芸家の加瀬達郎さんの教育講演会も行われました。



校門前の60周年記念モニュメント

12月
3日

イルミネーションで 素敵な冬の夜を演出



イルミネーションで飾られた海上公民館前

旭市商工会青年部によるスターライトファンタジーが、海上公民館前で行われ、会場周辺は幻想的なイルミネーションで装飾されました。

12月10日には「スターライト☆フェスタ」が開催。ダンスパフォーマンスや抽選会などが行われ、多くの人でにぎわいました。